

横浜のシーバスに乗る

2021-3-30 池田良穂

横浜には何十回と出かけていますが、どういうわけか水上バスに乗る機会はありませんでした。ところが、「日本の旅客船Ⅲ」の編集をしていて、横浜の水上バスに新造船が就航したことを知りました。船名は「シーバスゼロ」。「シーバス」は、てっきり水上バスの英語かと考えましたが、英語表示には SEABASS とあり、魚の「スズキ」であることも知りました。「ゼロ」というのも不思議な命名。とっても興味がわきました。運航するのは、昔から横浜港内の遊覧船を運航している横浜クルージングという会社であることも知りました。

年度末も迫った 3 月 29 日。お手伝いした外務省の研究プロジェクトの報告書を中西外務政務官に手渡す式典に列席させていただくことになって上京することになりましたが、その式典は夕刻。それまでの時間を利用して「シーバスゼロ」を見に行くことにしました。

朝一番の飛行機で羽田空港に行き、リムジンバスに乗るとわずか 30 分で横浜駅に隣接する Y キャットに到着しました。そのすぐ近くにシーバスの横浜駅東口の乗り場がありました。

この日の第 1 便は「シーバス 2」で、みなとみらいのぶかり桟橋、赤レンガ桟橋に寄って山下公園の「氷川丸」の横の遊覧船桟橋まで約 35 分の航海でした。てっきり洋上で、走行する「シーバスゼロ」と出会えるかと思っていたのですが、いろいろ港内船や港湾施設にカメラを向けているうちに見過ごしてしまったようで、その姿を見ぬ間に山下公園に到着してしまいました。

下船して乗り場で聞くと、次の横浜駅東口行が「シーバスゼロ」とのこと。こうして帰りには待望の新造船に乗ることができました。

この後、東京に移動して、さらに時間があつたので新橋からゆりかもめに乗って日の出桟橋で東京の水上バス、さらに東京国際クルーズターミナル駅まで行って新クルーズターミナルの外観も見てきました。

16 時から、外務省でプロジェクトの成果報告書を中西外務大臣政務官に渡す式典に列席しました。成果報告書の内容については、いずれご報告します。



横浜駅東口の水上バスの乗場から「シーバス 2」に乗りました。



船内の前半分は屋内の椅子席です。前方の見晴らしがよいのが特徴です。



船の後方はオープンデッキになっています。



たかしまII。国土交通省の巻頭整備局の業務艇で52総トン。21ノットも出る高速旅客船です。



みなとみらいの国際会議場に隣接するぶかり棧橋に到着します。



新しく造られた新港埠頭客船ターミナルは、横浜ハンマーヘッドパーク内にある商業施設に併設されています。右が新棧橋。クレーンの背後に見えるのがターミナルの入るビルです。



続いて、海上保安庁の基地があり、大小さまざまな巡視船艇の姿がみられます。「おおすみ」。



消防艇「ひりゅう」



巡視船「ぶこう」



巡視艇がたくさん繋がる船溜まり。



水上バスは、赤レンガ街の棧橋にも寄ります。



大棧橋の先端でをかすめて山下公園に向かいます。



大棧橋の付根付近にはレストラン船「ロイヤルウィング」が停泊していました。



山下公園の保存船「氷川丸」の船首をかすめるように、隣の遊覧船桟橋に到着します。



山下公園桟橋で「シーバス 2」を下船する乗客の姿です。



遊覧船「マリーンシャトル」は係船されていて運休中でした。



もう一隻の遊覧船「マリーンルージュ」は運航されていました。



ロイヤルウィングと黄色のパイロットボートです。



待望の「シーバスゼロ」が入港してきました。



山下公園の桟橋に着いた「シーバスゼロ」です。



「シーバスゼロ」の先方にある屋内キャビン。



「シーバスゼロ」の後部のオープンデッキです。



タグボート4隻に押されて着岸中の「プサカ・ボルネオ」です。煙突の背後に巨大なスクラバーが取り付けられています。



入港した時とは違ったアングルの「氷川丸」が撮れました。



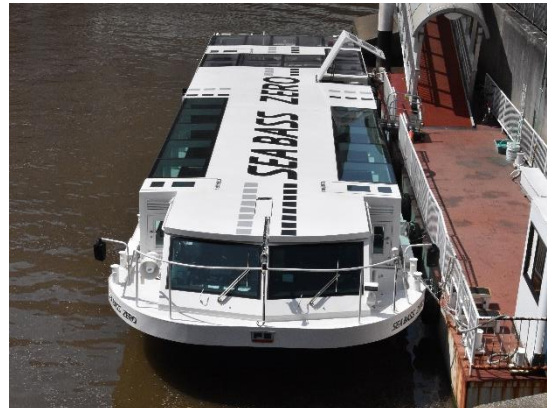
大横橋の全景です。



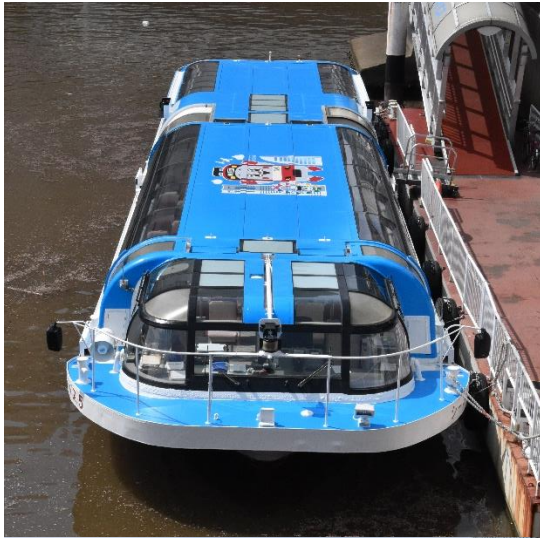
ノースドックに停泊する米海軍の双胴艦「ビクトリアス」です。



横浜駅東口のシーバス乗場に着岸する「シーバスゼロ」です。建造はツネイシクラフト&ファシリティーズ。



「シーバスゼロ」の顔写真です。



ウォーターフロントのお洒落なカフェで昼食をとっていると「シーバスゼロ」と入れ替わりに「シーバス 5」が入ってきました。



上から見た顔と、ほぼ水平に見た顔でずいぶん印象が変わります。

東京港



東京の日の出ふ頭で、東京の水バス「ホタルナ」を見ました。



ゆりかもめの車窓から「ホタルナ」と「ジュビリー」が行違うのが撮影できました。



ゆりかもめの駅名が「東京国際クルーズターミナル駅」に変わっていました。



新クルーズターミナルは、旧船の科学館の横に建設されました。レインボーブリッジの外側なので、どんな大型クルーズ客船でも着岸可能です。



船の科学館の保存船「宗谷」と東京国際クルーズターミナルです。